

1 1	読 む
古文を味わう	
〔確認〕	
名	前

**やってみよう**

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「これも今は昔、比叡の山に見ありけり。僧たち宵のつれづれに、「いざ、かいもちひせむ。」と言ひけるを、「この児、心寄せに聞きけり。さりとして、し出さむを待ちて寝ざらむもわるかりなむと思ひて、片方に寄りて、寝たるよしにて、いでくるを待ちけるに、すでにし出したるさまにて、ひしめき合ひたり。

「この児、さだめておどろかさむずらむと待ちぬるに、僧の、もの申しさぶらはむ。おどろかせたまへと言ふを、うれしと思へども、ただ一度にいらへむも、待ちけるかともぞ思ふとて、いま一声呼ばれていらへむと、念じて寝たるほどに、「や、な起こしたてまつりぞ。幼き人は寝入りたまひにけり。」と言ふ声のしければ、あな、わびしと思ひて、いま一度起こせかしと思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただ食ひに食ひ音のしければ、すべなくて、無期ののちに「えい」といらへたりければ、僧たち笑ふことがぎりなし。」(『宇治拾遺物語』より)

注  
 \*かいもちひせむ=ぼたもちを作ろう  
 \*わるかりなむ=よくないだろ  
 \*無期=長い時間

一 次のの現代語訳を、それぞれアウの中から一つ選んで記号で答えなさい。

つれづれに  
 ア 手持ちぶさに  
 イ 忙しかったが  
 ウ 楽しみにしていたので

おどろかせたまへ  
 ア びっくりさせましょう  
 イ 目をおさましなさい  
 ウ 驚きましたか

二 「わるかりなむと思ひて」とあるが、それを説明した次の文章の適切な言葉を入れなさい。

「この児は、ぼたもちが、  
 のを

待って寝ないでいるのも体裁(ていさい)がよくないと思つて。

三 線の主語を、文章中から抜き出して書きなさい。

\_\_\_\_\_

四 文章中にあと一か所会話文( )の付くところ( )があります。その始めと終わりの三文字を書きなさい。

\_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

五 本文中の主題として最も適切なものを、アウの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 児の眠りを妨げないようにする僧たちの親切さ
- イ 児の微妙な心理が失敗を引き起こしたおもしろさ
- ウ 幼い児をみんなで笑いものにする僧たちの意地悪さ

\_\_\_\_\_